

各関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

病虫害発生予察技術情報 第4号を下記のとおり発表します。

タマネギほ場で、タマネギべと病の発生を確認しています。ほ場での発生状況を観察し、発病株は早期に抜き取りするようご指導願います。

平成26年度 病虫害発生予察技術情報 第4号

タマネギべと病の防除対策について

- 1 対象作物 タマネギ
- 2 病虫害名 べと病
- 3 発生地域 淡路の一部地域
- 4 発生程度（時期） 多い（早い）
- 5 発生状況について

- (1) 淡路地域巡回調査ほ場の一部地域で、タマネギべと病の発生が確認されている。
- (2) 発生ほ場率が8.3%（平年同3.7%）と高く、発生時期も早くなっている。
- (3) 越年罹病株（図1）が認められた場合、今後の降雨と気温の上昇によって、べと病の多発生につながる恐れがある。

6 発生予想について

本病は卵菌類による病害であり、前年秋の苗床やほ場での卵孢子から感染し、無病徴のまま越冬して春期越年罹病株として発病する。本ほにおいては、越年罹病株が感染源となって二次感染株（図2）が発生する。二次感染は、気温が15℃程度の多湿条件で発生助長されると予想される。

7 防除対策について

- (1) 越年罹病株の発生が認められた場合は、二次感染がはじまる3月下旬までに抜き取り、ほ場外で処分すること。
- (2) 二次感染の開始時期である3月下旬から予防散布を実施すること。
- (3) 発病を認めた場合は、治療効果の高いメタラキシル剤等で直ちに防除を実施する。
- (4) 防除薬剤については、兵庫県農薬情報システム等を参考に選定し、農薬使用基準を遵守すること。

兵庫農薬情報システム (<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

*** この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載**
(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/>)

問い合わせ先 兵庫県病虫害防除所 0790-47-1222



図1 越年罹病株（葉身が湾曲・黄化し、分生子を形成する）



図2 二次感染株（葉身の一部が小半型に黄化する）